

日本建築学会東北支部研究報告集 目次

構造系

発表時間 1人11分（発表8分 質疑応答2分 交代1分）

日 時：2021年6月19日（土）

会 場：オンライン（Zoom）

9：30～10：36

構造Ⅰ【司会者 吉野 裕貴（仙台高等専門学校）】

C-1 1938年5月および11月の福島県沖の地震の被害に関する文献調査

○水田 敏彦（秋田大学）、鏡味 洋史

C-2 SRC造中層建物のSTERA_3Dによる弾塑性地震応答解析平面骨組による解析（その2）

○益野 英昌（仙台市立仙台工業高等学校）、齊藤 大樹、柴田 明德

C-3 積雪期間における多層木造建物の常時微動・地震観測記録の分析

○三辻 和弥（山形大学）

C-4 分数次導関数減衰モデルを用いた複素減衰近似

○毛塚 尚太郎（東北大学）、羅 浩、五十子 幸樹

C-5 縮小試験体による引張軸力を受けるコンクリート充填鋼管杭頭部の応力伝達機構の解明

○藤川 瑤生（東北大学）、古川 幸、齊藤 智哉、木村 祥裕

C-6 液状化地盤において杭頭局所変形を生じる鋼管杭の終局メカニズムの把握

○的場 萌子（東北大学）、古川 秀、木村 祥裕

11：00～12：06

構造Ⅱ【司会者 三辻 和弥（山形大学）】

C-7 宮城県、岩手県における大スパン鉄骨構造物の構造調査とデータベースの構築

○吉野 裕貴（仙台高等専門学校）、木村 祥裕

C-8 ルーフデッキの回転補剛性を把握するための振り実験

○廖 望（東北大学）、吉野 裕貴、木村 祥裕

C-9 二方向地震動を受ける層中間ピン柱脚を有する低層立体骨組の保有性能評価

○千葉 茜（東北大学）、古川 幸、田村 直樹、木村 祥裕

C-10 正負繰り返し载荷を受けるパズル型機械的ずれ止めの履歴挙動

Cyclic Behavior of Puzzle-shaped Rib Shear Connectors Subjected to Fully Reversed Cyclic Loading

○鈴木 敦詞（東北大学）、鈴木 佳歩、木村 祥裕、高橋 順一

C-11 正負繰り返し载荷を受ける孔あき鋼板ジベルの最大せん断耐力評価

○鈴木 佳歩（東北大学）、鈴木 敦詞、木村 祥裕、高橋 順一

C-12 複合非線形効果を考慮した主軸斜め45度方向入力を受ける単純立体骨組の塑性分岐挙動

○福田 伊織（東北大学）、五十子 幸樹

9 : 30~10 : 25

材料施工Ⅰ【司会者 大塚 亜希子（秋田県立大学）】

D-1 バクテリアを用いた自己治癒コンクリートの最適な調合の決定に関する実験的検討

○川崎 浩長(日本大学)、春木 満、JONKERS Henk、PAREEK Sanjay

D-2 エアロゲルを用いた断熱モルタルの基礎的研究

○野村 麻里奈(東北工業大学)、菊田 貴恒

D-3 被覆したポリマーセメントモルタルの塗布厚さがコンクリートの中酸化抑制効果に及ぼす影響

○田中 拓弥(日本大学)、齋藤 俊克、出村 克宣、掛川 勝

D-4 コンクリート施工時の要因が強度変化に及ぼす影響に関する検討

○伊藤 薫実(秋田県立大学)、石山 智

D-5 形状の異なる繊維を用いた UHP—FRCC の梁の力学特性に及ぼす影響に関する研究

○笹原 寛晟(秋田県立大学)、石山 智

10 : 40~11 : 24

材料施工Ⅱ【司会者 齋藤 俊克（日本大学）】

D-6 非・微破壊的手法による重要文化財黄檗宗大本山「萬福寺」屋根材の材料性能評価に関する検討

○大塚 亜希子(秋田県立大学)、毛塚 拓巳、清原 千鶴、今本 啓一

D-7 木造重要文化財における補修部材を対象とした非破壊による部材性能調査方法に関する検討

○佐藤 希(秋田県立大学)、大塚 亜希子、板垣 直行

D-8 フローリングに対する要求性能と劣化の影響

○板垣 直行(秋田県立大学)、大塚 亜希子

D-9 建築鉄骨における 550N 級鋼材横向溶接の入熱・パス間温度制限管理

○高橋 順一(東北鉄骨橋梁)、須田 祐斗